



村民の「今」を支える
特集 **福祉と医療**



the most beautiful
villages
in japan

飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

- 2 今月の話題「農地で新たな試み」
- 4 特集「福祉と医療」
- 10 報告「6月議会定例会」
- 12 飯館百景「ガーデンレポート」
- 14 学びの広場「いせ先生絵画教室」ほか
- 15 「百歳賀寿」ほか
- 16 いいたて便り
- 18 話題のパレット
- 19 はなれていても／ふれ愛館だより
- 20 いいたてDIARY／ままでの食卓
- 21 ふるさと資源 発掘図鑑
- 22 村からのお知らせ
- 23 ひとのうごき ほか
- 24 ほっとNEWS／飯館言葉の達人

飯館の農地で新たな試み！

農家さんの技術と努力と協力があってこそ

「将来への布石」となる
新たな農業を進めよう！

大部分の避難指示解除から6度目の夏を迎える飯館村。震災前と比べればまだまだでも、田んぼも畑も牧草地も、年を経ることに息を吹き返し、農村風景の美しさを一つひとつ取り戻しています。今ある村の姿は、多くの村民の並々ならぬ努力の成果に他なりません。そんな飯館村だからこそ、さらに新しいチャレンジをしていこう―農地を舞台に、第6次総合振興計画に掲げた「飯館産米活用推進」「ままでのブランドの拡大」などを進めるいくつものプロジェクトがスタートしています。未来のために汗を流す農家の皆さんの心意気に支えられながら。

ゼロカーボンにも貢献！

お米がプラスチック製品に

国産の米をバイオマス資源として活用し、プラスチック樹脂の原料「ライスレジン」を製造する企業と提携。原料となる米の栽培が、この春から村内でも始まりました。

「レジン」とは「樹脂」のこと

耕作されていない水田を活用して、ライスレジン用の米の作付けが行われています。下の写真は八木沢地区の田植えの様子。



左の写真は、ライスレジン製のレジ袋（お米率25%）と、レターオープナー（封書を開封する時に使うアイテム）（お米率51%）。

今月の話題 vol.26



直売所のチアリーダーに カラフル担当！「彩り野菜」

おいしい野菜が並ぶ道の駅の直売所をよりカラフルに彩る作戦を展開中！野菜づくりの名人に、村が「彩り野菜」の苗を提供。現在5軒の農家で育てていただいています。

左は「彩り野菜」の栽培に取り組む赤石澤備（すなお）さん（上飯樋）。色とりどりのパプリカや唐辛子類の苗を丁寧に仕立てていました。「初めてつくる作物もあるからまずは育て方をよく知る所から。手をかけて育ててみるよ」。

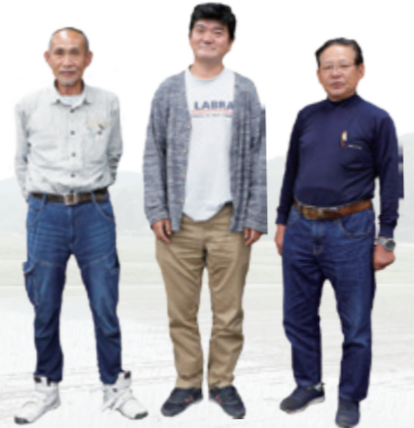
いろいろやさしい



魅力向上プロジェクトが始動

生産組合の皆さんの思いを共有

村産農畜産物の魅力を発掘
今年のテーマは「あぶくまもち」
村が目指す「あぶくまもち」の生産拡大と6次化に、多方面の力を結集。生産組合の尽力に応えるべく、「あぶくまもち」の魅力を高め発信するプロジェクトが始動しています。



6月15日、専門家を交えた初回の「魅力向上」作戦会議が行われました。今年は「あぶくまもち」のおいしさを伝える魅力的なイベントも用意しています。ぜひご注目ください！

「飯館村あぶくまもち生産組合」の（左から）森永正男さん（前田・八和木）、代表の青田豊実さん（前田）、庄司久則さん（小宮）。新たな挑戦に力を貸してくださる皆さんです。

あぶくまもち

今年は60aのほ場で種もみを生産。来年（令和5年）からの栽培拡大を目指しています。



今月の表紙
サポートセンター「つながっぺ」におじゃましました。この日は素敵な柄違いの「状差し」を皆さんで製作していました。他にも「百歳体操」をしたり（上の写真）、一緒に昼食を食べたり、それぞれのペースや体調にも合わせて、和やかに楽しく過ごしていました。P4からの関連記事もご覧ください。



みてみて、ここ

どれどれ

この日は和柄模様の状差しを製作しました。



サポートセンター つながっぺ ☎0244(26)5207

村民の憩いの場として、飯館村社会福祉協議会が運営しています。飯館村民が対象で、村外にお住まいの方も利用できます。村内は行政区ごとに送迎を行っています。(※送迎は曜日が決まっています)利用方法については電話でお問い合わせを。

1日のスケジュール

- 9:30 ● 送迎・センター到着・受付
- 10:00 ● 軽い体操・フリータイム
- 12:00 ● 昼食(昼食代は税込380円)
- 12:30 ● 静養
- 13:30 ● レクリエーション・制作活動
- 15:00 ● 送迎・センター出発



なにげないやりとりが
こころをほぐしてくれる
やっぱりこれだよね…
いいたてならのでは
ほっとする時間があるみたい

特集

福祉と医療 村民の「今」を支える

村は、飯館村地域包括支援センターを含む健康福祉課を中心に、飯館村社会福祉協議会をはじめとする関係機関と協力して、高齢者が安心して笑顔で暮らせるよう、一つひとつの課題に向き合いながら取り組みを進めています。

村には都市部のような大きな病院はありませんが、週2日診療・投薬が受けられるクリニックがあり、訪問診療も始まりました。小さな村だからこそ行き届く面もあり、近い距離感で見守り活動や声かけができるメリットもあります。

この特集では、福祉と医療の現在の状況をお知らせします。地域包括支援センターなどの窓口も紹介しますので、よりよい暮らしの参考にぜひお役立てください。

いいたてクリニック

つながっぺ



同じ建物の中にあります。

サポートセンター「つながっぺ」は村役場と同じセンター地区にあり、「いいたてクリニック」と同じ建物の中にあります。

開所は平成29年。現在は約110人の方が利用登録していて、百歳体操やレクリエーション、四季折々のイベントなどを、共に楽しんでいきます。一昨年からコロナ禍の影響による断続的な活動休止がありました。現在は人数制限を設けながら、感染症対策を万全にして開いています。

全村避難が6年に及び、避難先に子育て世代の生活基盤が落ち着くなどして、世帯の高齢者のみが帰村しているケースも多くなります。高齢者のみならず、離れて暮らす家族にとっても、安心な暮らしにつながる福祉・医療の充実は大切です。

地域包括支援センターでは さまざまな事業も行っています

■ 認知症予防教室



白石行政区の地域サロンにて

地域包括支援センターでは、相談業務の他にも、介護予防に役立つ様々な教室を開催しています。

白石地区での「認知症予防教室」は、5月に開催しました。6月には、南相馬市飯館自治会で、「いいたてクリニック」の本田徹先生を講師に、認知症への理解を深める「健康講話」を行っていただきました。



南相馬市飯館自治会にて

地域包括支援センターでは、主催団体のご希望に沿って教室の内容を組み立てることができます。食事のこと、お口の健康のこと、運動についてなど、ご希望のテーマをご相談ください。健康的な生活を続けることで、要介護状態になることを防いでいきましょう。ぜひご利用ください。

■ ゆずカフェ



認知症の方やそのご家族など、どなたでも自由に参加できる集いの場です。日頃の悩みの相談や情報交換はもちろん、おいしい飲み物を飲みながら、ほっとひと息しませんか。

■ 認知症サポーター養成講座 など

支える側の講習等も行っています



介護サービスにつなげます

介護サービスを利用するには、介護サービス計画(ケアプラン)の作成が必要になります。地域包括支援センターまたは「いいたて在宅介護支援センター」へご相談ください。

■ 村内にも医療・介護サービスの事業所があります。



ピュアート訪問介護事業所
☎0244(26)6271



あがべご訪問看護ステーション
☎0244(32)1463

いいたて在宅介護支援センター

(居宅介護支援事業所)

☎0244(68)2144

介護を必要とする家庭を訪ね、一人ひとりの状況に合わせた介護サービス計画(ケアプラン)を作成しています。



「飯館村地域包括支援センター」は、65歳以上の高齢者の総合相談窓口です。「体調に不安がある」「物忘れが増えた」「介護のことが心配」…など、どなたでもお気軽にご相談ください。

たとえば…

- 家族の介護の相談
- 家族が入院し、退院後の生活が心配
- ご自身または家族の体調が悪い
- 家族や友人がこれまでと何か様子が違うので心配
- 家族や友人の物忘れが気になる

お一人で悩まずご相談ください

飯館村地域包括支援センター

飯館村伊丹沢字伊丹沢571(いちばん館)

☎ 0244(42)1626



飯館村地域包括支援センターは村役場本庁の南側に建つ「いちばん館」の中にあり、5人の職員が在籍しています。

「地域包括支援センター」は、高齢者の暮らしを地域でサポートする拠点として、主に自治体が設置しています。介護や福祉の総合窓口として、関連機関と連携し、権利や生活の相談、在宅や施設で安心して暮らすための支援を包括的に行います。また、介護予防の講座や、介護する家族のサポートも行っています。介護保険の申請などはもちろん、暮らしのお困りごとでもご相談ください。

飯館村地域包括支援センター
高齢の方の総合相談窓口です





飯館村社会福祉協議会 ☎0244(42)1021

飯館村伊丹沢字伊丹沢571(陽だまりの家)



サポートセンター「つながっぺ」運営の他、地域サロンのサポートや、生活支援相談員による高齢者の見守り訪問活動、各種支援事業などを行い、地域福祉・高齢者福祉の充実に努めています。

■ お助け合い事業

高齢者世帯などを対象に、地域の住民がサービスの担い手となり、自立した生活を支えます。送迎・片付け・草刈り・雪かきなどが1回300円で頼めます。事前登録が必要です。

■ 家族介護者交流のつどい

要支援および要介護の認定を受けている家族を自宅で介護している方を対象に、日頃の疲れをいやしたり介護者相互の交流を深めたり、リフレッシュする集いを開いています。

■ 生活支援ワゴン運行

4月から、川俣町での買い物等のワゴン運行が、月・水・金の週3回になりました。火・木の午前中は「いいたてクリニック」の送迎、月～金の午後は村内運行を行っています。
※2日前までに予約。無料。☎0244(26)5207

■ 老人クラブ活動を支援

飯館村老人クラブ連合会の活動を支援しています。6月19日には、同連合会主催のパークゴルフ大会が「いいたてパークゴルフ場」で開催され、約70人が参加しました。



いいたてクリニック ☎0244(68)2277

飯館村伊丹沢字山田380



診療時間

火曜日 8時30分～正午
午後1時30分～午後3時
木曜日 8時30分～正午

※院内処方でお薬も受け取れます。

■ 診療を行う2人のお医者様を紹介します



総合診療科 斎藤徹先生
クリニックに通う方の中には、避難中「あづま脳神経外科病院」の本院で診ていた方もいらっしゃるそうです。



総合診療科/訪問診療 本田徹先生
「皆さんに寄り添いお役に立てれば」。村に移住し、この春から外来診療と訪問診療を行っていただいています。



健康福祉課 健康係☎0244(42)1637 福祉係☎0244(42)1633

■ までいな健康運動塾(健康係)



講座の開催情報はお知らせ版に掲載します

■ いいたて村在宅介護送迎車(福祉係)

村内にお住まいの方を対象に、村外の病院の通院を送迎。通所リハビリやデイサービスの送迎も支援します。利用の1週間前まで、お早目にご相談ください。

■ 緊急通報システム(福祉係)

一人暮らしの高齢者などに緊急通報用の専用携帯電話や設置型装置を無料で貸し出しています。

■ 郵便局のみまもりサービス(福祉係)

村内に居住している高齢者のお宅へ定期的に訪問・連絡し、確認した生活状況をご家族などへ連絡するサービスで利用は無料です。



いいたてホーム ☎0244(42)1700

飯館村伊丹沢字伊丹沢571



「いいたてホーム」は、家庭的な雰囲気の中で介護に取り組んでいます。個室がフロアを囲むユニット型の建物で、一人ひとりの個性の尊厳と生活リズムを保ちながら、職員も利用者と共に「暮らし」を楽しんでいます。



いいたてホーム×県立医大



村と福島県立医科大学は包括連携協定を結び、村民の健康づくりや医療人材育成などの取り組みを進めています。

「いいたてホーム」では、実習施設として、同大保健科学部作業療法科の学生が、同大教員の指導の下、対象者との基本的な関わり方や、作業療法評価に必要な知識・技術などを学んでいます。

村民同士の多様な支え合いも続いています



民生委員の皆さんをはじめ、さまざまな団体・有志の皆さんが地域福祉に貢献くださっています。また、行政区による地域サロンや、老人クラブ連合会の催しも開催されています。





令和4年6月議会定例会は、6月10日から17日までの日程で開かれました。一般質問は14・15日に行われ、村議員が村政の重要な課題等について村側の考えを質しました。

今議会で可決された議案など

- 令和4年度 飯館村一般会計補正予算
- 令和4年度飯館村国民健康保険特別会計補正予算
- 令和4年度飯館村簡易水道事業特別会計補正予算
- 令和4年度飯館村介護保険特別会計補正予算
- 令和4年度飯館村介護保険の一部を改正する条例
- 東日本大震災に伴う国民健康保険税の減免に関する条例の一部を改正する条例
- 飯館村介護福祉条例の一部を改正する条例

紙面の都合上、一部省略しています

村長村政報告

紙面の都合上、一部省略しています

帰還困難区域の避難指示解除に向けた進捗について

長泥行政区では、特定復興再生拠点区域において、環境省による除染や家屋解体、環境再生事業などが進み、現在、3月に設置した村除染検証委員会による検証を行っています。同委員会が5月にまとめた中間報告を村ホームページで公表しています。

今後は、避難指示解除要件である①年間積算線量が20ミリシーベルト以下になることが確実であること②生活に必要なインフラがおおむね復旧すること③県市町村・住民と十分な協議がなされることの一つひとつについて検証と準備を進めます。

避難指示解除に向けては、集会所等の整備に加え、先に避難指示が解除された19行政区と同様に、飲料水確保や昇口舗装などの生活インフラの整備を進め、長泥地区の住民や議会の意見を踏まえつつ、国と相談の上、準備宿泊等についても検討を進めます。

東日本大震災による被災者が属する世帯の第1号被保険者に対する介護保険料の減免に関する条例の一部を改正する条例

飯館村敬老祝金給付条例の一部を改正する条例

敬老祝金はその年の4月1日現在で満年齢が75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳を迎えた方に給付してきました。改正により100歳を超えた方には毎年給付することとしました。

特定復興再生拠点エリア造成工事請負契約の変更について

災害関連農村生活環境施設復旧事業・福島再生加速化交付金事業農業集落排水管路工事(草野第2地区草野2期その2)請負契約の変更について

村道路線の廃止及び認定について

地震被害について

3月16日に発生しました福島県沖地震では、住家の被害調査の申請が6月2日現在で111件あり、順次、損害判定を行っており、証明書の交付をしています。

村民の帰還状況

6月1日現在の村への帰還者は637世帯、1226人で帰還率は約24.9%。これに転入者201人といいたてホームの入所者等を合わせた村内の居住者は782世帯で1481人となっています。避難を継続している方は、県外避難者が166人。県内避難者は、福島市に2169人、南相馬市に302人、伊達市に264人、川俣町に251人、相馬市に135人など、合わせて3280人です。

ワクチン接種について

新型コロナウイルスワクチンの3回目接種は「いちばん館」に集団接種会場を設けて実施。4回目接種は対象者に意向調査を郵送し、7月からの接種に向け準備を進めています。

農政関係

水稲の作付け面積は204haとなり昨年度の約1.16倍に拡大する見込み。「あぶくまもち」は「飯館村あぶくまもち生産組合」が県と種苗許諾契約を締結し種子生産が可能になりました。

建設関係

村道舗装機能回復工事(舗装工事)では30路線10.7kmを発注。この工事で計画した路線がほぼ完了します。村管理の普通河川は昨年度で河道掘削が完了し、全線で除草作業を行う予定。「農業基盤整備促進事業」は農業基盤再生係を設置し大幅な増員を行って事業を進めております。

教育関係

4月に「いいたて希望の里学園」に17人が入学。「までの里のこども園」には4人が入園しました。学園の児童生徒は68人、こども園の園児は41人となり、計109人が村の学校・園に通っております。5月には感染症対策を徹底し、合同の運動会が開催されました。

わくわく推進協議会

「いいたてわくわく推進協議会」において、村の食材を活用したオリジナルカレーパンを試作するプロジェクトが開始し、3月13日に試食会を開催しました。今後は得られたノウハウをもとに、量産のためのレシピや単価設定など課題を洗い出します。また、こうした村を活性化する活動について、積極的に検討・推進します。

地域おこし協力隊

5月3日・4日、地域おこし協力隊の二瓶麻美さんが、マルシェ(市場)型イベント『山の向こうから』を開催しました。イベントは、感染症対策を整えた上で実施され、過去最高の約1200人が来場しました。

また、横山梨沙さんは、三千本の復興桜のライトアップに合わせて、村商工会青年部と協力しコーヒーショップを出店しました。

3月末に協力隊を卒業した松本奈々さんも、旧コメリ跡地で『図図(ずつと)倉庫』プレオープンイベントを開催しています。

プレミアム付商品券

4年目も引き続き、県の事業再開・帰還促進事業を活用し実施します。発行数を1万7000冊に増やし、6月1日から発売を開始。事業の効果を高めるイベントとして、村商工会主催の「いいたて夏まつり」「いいたて秋まつり」「いいたて冬まつり」などのイベントも計画しています。

あいの沢・深谷復興拠点

宿泊体験館「きこり」は、地震の影響で宿泊棟及び入浴施設の営業を休止しています。入浴施設の修繕を進め、できるだけ早期に利用可能となるよう努めます。また、「村民の森あいの沢」のオートキャンプ場では4月からモニター利用を開始し大きな反響をいただいています。

「いいたて村の道の駅までい館」では飯館牛の復活を目指し、村産産牛の加工品、A5ランク肥育牛の販売などを実施。隣接する「ふかや風の子広場」「ドッグランわんこの庭のびのび」も利用者から好評をいただいています。

飯舘 百景

ガーデンレポート

さまざまな種類の花に出会える松原光年さん(小宮)の庭。6月中の日曜日にはオープンガーデンを開催し庭に迎えた客人をお茶や手打ち蕎麦でもてなしました。



武藤やい子さん(二枚橋・須萱)のポピー畑



佐藤真弘さん(二枚橋・須萱)の見事なサツキ



菅野真由美さん(草野)のバラは胸ときめく華やかさ

村には四季折々に美しい庭がたくさんあります。そして訪ねてみれば、それぞれのお庭に歴史や物語があるのでした。

松原光年さんは季節の花の庭づくりを続けて20年。震災前にも地域の人達とオープンガーデンを開催していて、現在は「飯舘オープンガーデンの会」の会長を務めています。交流センターに花を飾るボランティアや花壇の整備などを仲間と共に続け、村を花で彩っています。

武藤やい子さんのポピー畑は、県道沿いに鮮やかに広がり、満開になると多くの人が車を降りて写真を撮っていました。「村の入口に近いので、村を訪れる人を迎える気持ちで手入れをしています」。

佐藤真弘さんの庭は50年以上前に、ご両親が山の木なども取り入れて二から造った庭。当時岩を動かして湧き出した地下水で、錦鯉も飼っています。「庭の手入れをしていると、亡き父と話をしているような気持ちになりますよ」。

そして菅野真由美さんのバラは、帰村した際に植えたもの。手入れを続け、枝を誘引して現在の姿に。菅野さんが営む美容室「パーマはうす髪化粧」のお客様や県道を行くドライバーを楽しませています。

村には他にも気になる素敵な庭がたくさんありますね。庭の数だけあるだろうストーリーがますます気になります。



百歳おめでとうございます

百歳賀寿

大澤フチノさん

(上飯樋)



大正11年6月1日生まれの大澤さん。とてもお元気で、明るい笑顔が印象的です。長寿の秘訣は「好き嫌いせず何でも食べる事、常に前向きな気持ちを保つこと」と教えていただきました。村で百歳を迎えた方は大澤さんが41人目です。

賀寿の席で孫の光浩さんが、涙を流しながら思いを語りました。「1日では語りきれない程の100年間の思い出があるばあちゃん(フチノさん)。ばあちゃんがいなければ自分は前に進めなかった。近くにいるだけで元気をもらえる存在です」。どうぞこれからもご家族仲睦まじく、ご長寿を重ねてください。



お知らせ

マイナポイント第2弾 を実施中!

この機会にマイナンバーカードをつくりませんか

令和4年1月からスタートしたマイナポイント第2弾。最大2万円のポイントが付与されるこの機会に、マイナンバーカードをつくりませんか。

マイナポイント第2弾に申し込むには!

- ①マイナンバーカードを令和4年9月末までに申請。
- ②令和5年2月末までにマイナンバーカードを使ってマイナポイントの予約・申し込みを行います。

マイナポイントの予約・申し込み方法

- 対応するスマートフォン、またはパソコンとカードリーダーがあればご自宅でも。
- 郵便局・コンビニエンスストアのマルチコピー機・ATM、携帯ショップでも行えます。
- マイナンバーカードと、カードをつくる時に設定した4桁の暗証番号をご準備ください※暗証番号は3回続けて間違えるとロックがかかります役場での手続きが必要になります。

最大 20,000円分のポイントがもらえます!

1 マイナンバーカード新規取得で最大 **5,000円分**

マイナポイントの予約・申し込みをして選択したキャッシュレス決済サービスにチャージまたは買い物をする時、その金額に対し25%(最大5,000円)のマイナポイントを付与。

2 健康保険証として利用登録で最大 **7,500円分**

マイナンバーカードを健康保険証代わりに利用する申し込みを行うと7,500円分のマイナポイントを付与。※利用は専用のカードリーダーがある医療機関・薬局に限られます。

3 公金受け取り口座の登録で最大 **7,500円分**

給付金などの受け取り口座として、金融機関の預貯金口座を任意で国に登録する制度です(1人1口座)。給付金の申請時に口座情報の記載などが不要になります。

健康保険証利用登録と公金受取口座の登録は、スマートフォンやパソコン、コンビニエンスストアのマルチコピー機等で行えます。

問 マイナンバー総合フリーダイヤル 0120-95-0178



絵本作家 いせひでこ先生の特別授業



自分で選んだ花を食い入るように見つめていた5歳児と視線を合わせる柳田先生(右)



前期課程・下学年の授業。一人ひとりの表現から想いをくみ言葉をかけるいせ先生(左端)

6月8日から10日の3日間、絵本作家のいせひでこ先生と、ノンフィクション作家の柳田邦男先生が村を訪れ、「いたて希望の里学園」「までの里のこども園」で、前期課程の児童と5歳児に向けたワークショップを行いました。

前期課程の子ども達はさまざまな植物を観察し、好きな画材で描きました。描きながらその絵の世界に飛び込んで、空想の場面やイメージを豊かに表現していました。

作品は会場に並べられ、いせ先生が、描いた児童にインタビュー。互いの表現を味わうミニ展覧会も行われました。

先生方は、こうした特別授業を継続し、飯館の子ども達を応援して下さっています。

5月26日、二枚橋地区で、前期課程の田植え体験が行われました。子ども達は、村民ボランティアの皆さんに教わりながら、「里山のつぶ」の小さな苗の一つひとつ丁寧に植えていきました。

稲の成長は5年生が定期的に観察します。また、秋には前期課程全員での稲刈り体験を、その後は収穫米を活用した活動を展開する予定です。

田植え体験 がんばりました



おいしいお米がとれますように

宇宙エゴマの種まきに挑戦



5月30日、「いたて結い農園」の農地で5・6年生が『宇宙エゴマ』の種まきを行いました。『宇宙エゴマ』はもともと飯館産。昨年(一財)ワンアースのプロジェクトで国際宇宙ステーションに運ばれ1か月間宇宙に滞在してきた特別なエゴマです。

子ども達は、農園の皆さんの協力を受けながら、栽培と収穫、その利用にも取り組みます。育った苗は学校の畑に定植し、10月の収穫を目指して栽培します。

大和田保男さん 消防活動を讃える藍綬褒章



伝達式の後、藍綬褒章と賞状を手に、出席者と記念撮影に臨む大和田さん(前列中央)

飯館村消防団で副団長を務める大和田保男さん(八木沢・芦原)が、春の褒章で藍綬褒章を受章。6月22日に村役場で褒章伝達式が行われました。大和田さんは昭和60年に消防団に入団、令和2年から副団長を務めます。「団員の協力があり、応援してくれる家族がいたからこそ」と受章を喜び、「地域を守る先輩方を見て育ち入団を志願した。地域への思いをつないで精進したい」と語りました。杉岡村長は長年の貢献に感謝し、「経験を継承してほしい」と期待も伝えました。

田中俊一さん 旭日重光章を受章されました

田中俊一さん(上飯樋)が、春の叙勲で旭日重光章を受章しました。田中さんは福島市の出身。旧日本原子力研究所を退職後、日本原子力学会長などを歴任。大震災の原発事故後に初代・原子力規制委員長に就任し、原発再稼働の新規制基準策定などに奔走しました。飯館村には除染アドバイザー、復興アドバイザーとして惜しみないお力添えをいただき、村と茨城県ひたちなか市の二地域居住で、村民と交流しながら、地域に根ざした復興に力を傾けていただいています。

「本人よりも周りの皆さんが喜んでくださり、ありがたく思っています」と受章を語る田中さん。皇居で伝達された勲章を胸に、妻の民子さん



ふかや風の子広場で 「ポケふた」をお披露目



「ふくしま応援ポケモン」のラッキーと、花の世話をするポケモンのフラエッタが描かれた世界に一つだけのデザインです。風の子広場に探しに来てね!



© 2022 Pokémon. © 1995-2022 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc. ポケットモンスター・ポケモン・Pokémonは任天堂・クリーチャーズ・ゲームフリークの登録商標です。

6月2日、ふかや風の子広場に設置された『ポケふた』のお披露目式が現地で行われ、「までの里のこども園」の5歳児が元気に除幕を行いました。『ポケふた』は、ポケモンがデザインされたマンホールのふたで、県と連携協定を結ぶ(株)ポケモンが県内市町村に贈っています。この場所はゲームアプリ『ポケモンGO』のゲーム内アイテムが入手できる「ポケストップ」にもなっています。

長泥地区除染検証委員会 検証結果の中間報告書を提出

5月31日、長泥地区除染検証委員会が、村に対し、中間報告書を提出しました。同委員会は、村で唯一の帰還困難区域である長泥地区の特定復興再生拠点区域の除染結果の検証を行っています。中間報告書は、準備宿泊のための空間線量は十分低減されていると報告し、また、局所的に線量が高い場所への措置や、データの蓄積・発信などについて意見が添えられています。村はこの結果を含めて住民・国と協議し、避難指示解除に向けた準備宿泊などの取り組みを進めます。



中間報告書を杉岡村長に提出する塚田祥文(ひろふみ)委員長(左/福島大学環境放射能研究所教授)

長泥住民説明会を開催 準備宿泊開始時期などを協議



「皆で集まれる場所の早期整備を」「生まれ育った長泥のイメージを大切に」と地域を思う発言も相次ぎました

6月19日、交流センター「ふれ愛館」で、長泥地区住民説明会を開催し、来春の避難指示解除を目指す特定復興再生拠点区域の現状と今後について説明と協議を行いました。協議では住民からの質問や意見を元に検討課題を整理。準備宿泊に向けての準備などを進めることについて確認しました。また、拠点区域外への企業誘致(堆肥製造施設)等について経緯を説明。土地活用を条件とする区域外の避難指示解除を目指すことについて意見を交わし、準備を進めることについて確認しました。

いいたてプレミアム付商品券 販売開始のセレモニー

6月1日、「いいたてプレミアム付商品券」が発売となり、村商工会館前でセレモニーが行われました。鹿山真広商工会長(深谷)は「村と村民の協力に感謝。活気を取り戻せるよう力を合わせたい」とあいさつ。志賀清一事業運営委員長(上飯樋)は「関連イベントもぜひ楽しんで」と呼びかけました。「いいたてプレミアム付商品券」は、1冊1万円円で1万5,000円分の買い物ができるお得な商品券。59の取扱事業所で使用することができます。1人6冊まで。1万7,000冊の限定販売です。

お問い合わせは村商工会 ☎0244-26-7957まで



セレモニーのひとつま。購入は村商工会館窓口で。販売・使用期間は令和5年1月31日までです

ゲートボールで交流

6月15日、「いいたてスポーツ公園」で、『南相馬 飯館親善ゲートボール大会』が開かれました。主催した村ゲートボール協会の佐藤昇会長（草野）は「避難先で健康づくりに協力していただいた。避難を続ける村民も皆一緒の交流です」と笑顔。南相馬市小高区の佐藤榮さんは自身の避難も振り返りながら「やはり楽しいものです」と仲間のプレーに目を細めていました。



はつらつと熱戦を繰り広げた参加者の皆さん

定岡さんの動画を国連機関が採用



自社の「Sky UPの杜（スカイアップのもり）」でドローン空撮を行っている定岡忠臣さん（深谷）。ユーチューブで公開していた阿部勝男さん（佐須）のヒマワリ畑の動画が、なんと国連の専門機関「世界気象機関」制作の動画に採用されました。「連絡をもらった時には驚きました」と定岡さん。「ぜひ村の風景を」と無料で提供したそうです。「気象衛星調整会議」50周年記念動画の冒頭に、定岡さん撮影の村の風景が映し出されます。

視聴はこちらから (YouTube)

はなれていても

大渡正子さん（草野 福島県南相馬市在住）



県道を登って村に入ると、空気がくっつと変わる感じがします。戻って来るとせいせいで来ますよ。先日ある男性が「避難先で初めて上がったのがつせと接待を受けた」とうれしそうに話していました。震災から11年、避難者への「拒み」を心配して過ごしてきたということなんですよ。

歩いた停電の夜。ただただ怖くて辛かった。その頃とはにかく必死で、訳が分からなかった。私は福島市に避難し、そこから村に通勤しました。ずっと泣くことすらできませんでした。かなり時が経って福島で田植えの風景を見た時に、飯館の田んぼを思っ初めて泣きました。今は思い出すだけでも涙が出ます。

民生委員として避難中からあちこちのお茶会に行きました。行けば皆の顔が見られて先輩の話も聞ける。いろいろな地区の人とも知り合いました。今はサポートセンター「つなごっぺ」のボランティアにも行きますが、人と人が思い合ういろいろな場面に出会います。準備する人は大変ですが、お茶会や同窓会などもできるだけ開いていただきたい。つながりが大切だと思います。震災前は組の付き合いでもいろいろ教わっていただきました。柏餅やフキのこしらえ方の家々の違いを話したり教え合ったりもしました。また、季節ごとに山の物や、農家の方にいただくおいしい野菜を味わいました。お金では買えない贅沢をしていたと実感します。そうした村のよさを何とか残していきたいですね。

道の駅では他にも新しいメニューが続々登場!



飯館の味! 道の駅の「エゴマそば」

「いいたて村の道の駅までい館」レストランの「エゴマそば」はいかがですか。「いいたて愚真会」の冷たい手打ち蕎麦を、「いいたて結い農園」のエゴマを使った温かなつゆで味わいます。蕎麦のトッピングのエゴマもプチプチと新食感。手打ちのため数量限定で提供しています。



メニューを開発!

厨房主任 佐久間昌樹さん



笑顔満開! 「テニス教室」

6月19日、「いいたてスポーツ公園」で、村教育委員会・村公民館主催のテニス教室が開かれました。講師は、佐久間光弘先生と村役場テニスクラブが務めました。この日の教室には24人が参加しました。硬式・軟式のグループに分かれて技術指導を受け、和気あいあいと試合も楽しみました。

交流センター「ふれ愛館」だより

おすすめ図書を紹介します



「2000平方メートルの世界で」 (小学館) 文：前田海音 絵：はたこうしろう

脳神経の病気を患う9歳の少女が病院の中のベッドの上で気づいたことや感じたことが描かれていて、生きていくことのすばらしさ、本当に大切なことを考えさせられます。『ひとりじゃない』というメッセージは身近ところにあるのかもしれない。



「しりとり」 (福音館書店) 作：安野光雅

ページをめくって絵をたどりながらしりとりができるしりとり絵本。やさしくどこか懐かしい絵を見て心がほっこりします。文字が読めなくても絵を見ながら、お子さん、お孫さんと楽しくしりとりができる1冊。



「新型コロナウイルスのサバイバル」 1・2 (朝日新聞出版) 作：コムドリコ、イラスト：韓賢東

新型コロナウイルス以外のウイルスについても勉強できる科学漫画。ウイルスって何? ウイルスに負けないためにはどうすればいいの? など、楽しく学びながら読むことができます。サバイバルシリーズの本は、他にもありますので、ぜひ読んでみてください。

日本一周の旅

写真・文 村民広報委員 F 初投稿!



あいの沢キャンプ場に6月8日、電話があって、「これから飯館村に自転車で向かいますが、今晚泊られますか」と言う。午後3時頃で雨が強く降っていた。

現在、保原町を出発したところだと云う。待っていると途中で自転車が故障したと伝えて来た。軽トラックで迎えに行き、話を聞くと、「自分は茨城大学の2年生で、社会科の教師を目指している。1年間休学して千葉県を出発、来年3月を目処に埼玉、群馬、栃木、茨城、福島 of 全市を回る。明日から南相馬市、相馬市を回って北海道に向かい、南下して日本全国、全市を回るつもりだ」と話してくれた。

見ると、いかにも子供っぽい顔をして、やんちゃそうな姿形に見えた。けど、どことなく優しくも見え、たくましくも見えた。こういう人が将来の子ども達の人生を正しく導く人となってくれるのだらうと、力強く感じずにはいらなかった。

飯館村に立ち寄った事が「高沢侑二郎君」にとって良き思い出になる事を心から願い、信じています。

▼飯館村森林組合・佐藤長平組合長より



比叢のモリアオガエルです

モリアオガエル産卵のニュース続々



ここ何日かの間に「モリアオガエル」の卵が飯館村の数か所で見つかった。沼のほとりに行ってみると、なるほど実に神秘的だ。萱草の根本や樹上に力強くたれさがついていた。昔は延命袋とも言われていたと聞く！我が飯館村にも本当の自然が残っていたのだと心から嬉しく感じた。

写真・文 村民広報委員 F



南相馬市同窓会の「会津の旅」

5月29・30日、南相馬市飯館同窓会の皆さんが、1泊2日の会津の旅へ。コロナ禍で、ようやく久しぶりに実現した旅行であり、この時を待ちかねた32人が親睦を深めました。江戸時代の宿場の面影を残す大内宿(下郷町)では皆で名物のねぎそばを味わい、鶴ヶ城や七日町(会津若松市)では城下町の散策を楽しみ、会員からは早くも次回を待ち望む声が上がっていました。

南相馬市飯館同窓会より

皆さんからの情報や投稿でつくるページです

今年度から村民広報委員を公募しご協力をいただいています。どなたでも投稿できるコーナーです。皆さんも身近な話題をどしどしお寄せください!

飯館村広報委員会(村づくり推進課企画定住係)

☎0244-42-1613

地域おこし協力隊
いいたてDIARY
ダイアリー

みなさんこんにちは! ろうそく作家の大槻美友です。地域おこし協力隊の活動も今年度で3年目を迎えました。2020年から移住して早2年。時が経つのは本当に早いですね。

活動が3年目ともなると、村内外での様々な繋がりを感ずることが多くなりました。

先日、村のイベントで知り合ったカフェオーナーさんのお店にお邪魔した時、店内のあちこちにキャンドルを飾ってくれていました。また、協力隊繋がりで大堀相馬焼で有名な松永窯さんのギャラリーにてキャンドルの展示販売をさせてもらえたり、村内の工房にたくさんの方が体験に来てくださったり...この土地に来てからできた繋がりが、どんどん広がっているのを実感しています。

村内にもレストランや新しい場所が続々と増えてきて、2年前から少しずつ変化している村の姿を暮らしながら感じられることにわくわくしています。



最近、村の人に種まきの方法を教えてもらいました! お、奥が深い...百聞は一見に如かずとはまさにこのこと...



今月のライター
飯館村地域おこし協力隊
大槻 美友 さん



おいしい飯館! までの食卓

生産者の皆さんにおいしい食べ方を聞いてみよう!



夫婦で生産に取り組んでいます。瑞夫さんはインゲン部会の部長。おいしい食べ方は妙子さんにお聞きしました。



末永瑞夫さん・妙子さん(深谷)

飯館の気候でままでに育てたおいしさは特別!

ほ場を広げて、昨年からは東京の豊洲市場にも出しています。長くて細くて青くて皮もやわらかい飯館のインゲンは震災前「飯館ブルー」という名のブランド品で特別な人気を得ていました。当時の価格には戻っていませんが市場は忘れずにいてくれて「もっとつくってほしい」という声をもらいます。手をかけ丁寧につくっています。皆さんもぜひおいしく食べてくださいね。



さっとゆで少量のめんつゆとファスナー付きのビニール袋へ。味がなじめばできあがり。



味付けは醤油でも味噌でも。ニンニクやショウガも合います。豚肉などと合わせてもインゲンだけで炒めてもOK。



筋を取り長さをそろえて数本ずつまとめ衣をつけ天ぷらに。生のインゲンを使います。

ひとのうごき

誕生おめでとう

赤ちゃんの名前	親の名前	行政区
大内 耀 喜くん	優輝・めぐみ	佐須
齋藤 光里ちゃん	友樹・夏美	深谷

おくやみ

氏名	年齢	行政区
木幡 二男	80	小宮
青山 シズヨ	85	草野
高橋 フヨノ	94	上飯樋
高野 行子	91	関沢
坂本 富江	89	草野
北山 初美	92	飯樋町
木幡 トキ子	94	比曾

ひとのうごき 令和4年5月31日現在

人口	今月 (前月比)	5月1日~31日までの人口動態
●男	2,478人 (±0)	転入 4人
●女	2,451人 (-1)	転出 1人
計	4,929人 (-1)	出生 2人
世帯数	1,809戸 (+2)	死亡 7人
(住民基本台帳人口)		

(5月21日から6月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出の時に住民係へ申し出てください。

ご冥福をお祈り申し上げます

6月の村の動きと主なできごと

- 〔5月追記〕
- 31日・長泥地区除染検証委員会 中間報告書を提出(村役場)
- 〔6月〕
- 1日・「いいたてプレミアム付商品券 販売開始セレモニー(飯館村商工会館)」
- ・文化財保護審議会(交流センター「ふれ愛館」)
- 2日・「ボケふた」お披露目式(ふかや風の子広場)
- ・農業委員会臨時総会(交流センター「ふれ愛館」)
- 3日・令和4年第2回飯館村市町村の国民健康保険事業の運営に関する協議会(村役場)
- 6日・新型コロナウイルス感染症対策本部(村役場)
- 8~10日・いせひでこ先生 柳田邦男先生ワークショップ (希望の里学園・ままでの里のこども園)
- 10~17日・6月議会定例会(議場)
- 12日・小宮地区農地中間管理事業説明会(小宮コミュニティセンター)
- 16日・認知症予防教室(南相馬市石神生涯学習センター)
- ・社会教育委員会(交流センター「ふれ愛館」)
- 17日・乳幼児健診(いちばん館)
- 18日・いきいきわくわく学びの旅・希望の里WAKUWAKUツアー 事前研修・保護者説明会(交流センター「ふれ愛館」)
- 19日・長泥地区住民説明会(交流センター「ふれ愛館」)
- ・テニス教室(いいたてスポーツ公園)
- 20日・新型コロナウイルス感染症対策本部会議(村役場)
- ・令和4年度飯館村防犯指導隊総会(交流センター「ふれ愛館」)
- ・家族介護者の集い(交流センター「ふれ愛館」)
- ・農業委員会定例総会(村役場)
- 23日・新型コロナウイルス4回目接種(いいたてホーム)
- 24日・定例教育委員会(飯館村地域防災センター)
- 29日・第2回学校運営協議会(いいたて希望の里学園)
- 29~30日・「日本で最も美しい村」連合会定期総会(秋田県小坂町)

災害用メール配信に登録を

台風や大雨に備えて

「飯館村災害用メール配信サービス」は、登録いただいたメールアドレスに、村が災害関連情報を配信するものです。ご利用には事前の登録が必要です。登録画面にメールアドレスを入力するか指定のアドレスに空メールを送信すると、本登録の案内がメールで届きます。登録後は、災害情報を直接メールで受け取ることができます。迅速な避難などにお役立てください。また、村を離れて暮らす方は、村内の災害情報をいち早く知る手立てとしてご活用ください。

■登録画面は村ホームページのバナーから。または検索、右のQRコードからもどうぞ。



「結」の農業支援事業 申請を受け付け中

自身が生産する農畜産物の生産作業等のため、委託契約により人員を確保する際の委託費を補助します。補助額は1時間あたり200円~300円で、上限は7万2000円です。

■産業振興課農政第一係
☎0244-42-1621

■農繁期等における短期的な労働力確保の支援や生産者間の互助等を促進し、収量増加・栽培技術の継承を図る事業です。

いいたてスポーツ公園で ナイター 駅伝を開催!

いいたてスポーツ公園で「ナイター 駅伝」を開催します。5人1チームで、小学生の部が5km、中学生の部が10km、一般の部が15kmでたすきをつなぎます。(エントリーは締め切られています)

■7月30日(土曜日)
午後4時開会予定

■主催 飯館村・飯館村教育委員会・飯館村公民館・いいたてスポーツクラブ

■主管 いいたて健走会・I I T A T E R U N C L U B

便利な「お知らせアプリ」 アプリ交流会で体験を

「イイタネちゃんお知らせアプリ」は、村が配信する情報を受け取ったり、おくやみ情報を確認できたり、写真の投稿ができたりする便利なアプリ。スマートフォンやタブレット端末で使用する事ができます。(アプリのダウンロードは無料。使用時は通信料がかかります)

村は多くの方に利用していただくとうと、定期的に「アプリ交流会」を開き、使用中の方、利用を検討されている方に、活用方法をお伝えしています。開催情報は全戸配布するチラシでご確認を。お気軽にご参加ください。

■村づくり推進課企画定住係
☎0244-42-1613



新型コロナウイルス 4回目接種に向けて

新型コロナウイルスの4回目接種は、3回目接種から5か月が経過している「60歳以上の方」と「18歳以上59歳以下で基礎疾患を有する方・その他重症化リスクが高いと医師が認める方」が対象です。いちばん館での集団接種は7月23日から始まり、3回目接種を令和4年3月末までに完了している18歳以上の方で意向調査が届いていない方は健康係までご連絡ください。

■健康福祉課健康係
☎0244-42-1637

入札結果はホームページで

広報紙上で公表してきた入札結果は、今年度分から、ホームページに掲載することとなりました。随時更新していきます。

飯館村ホームページ
<https://www.vill.iitate.fukushima.jp/>



待望の田舎レストラン「ラ・カッセ」で、30代の地元シェフによる村産お野菜たっぷりの経産牛ハンバーグを美味しくいただきました。20代の方が熱い想いを集めて集落作業に参加されている長泥地区のこと、花や牛などの生産に意欲的に取り組む若手農家の皆さんのことなどに想いを馳せました。村振興公社でも40代以下のメンバーで農業部門が立ち上がりました。世代から世代へ。想いの継承が「未来」を形作っていきます。(杉岡村長)

日々奮闘する女性にやすらぎの時間を 白石小にオープン 「はり・きゆう・カシエツト」

フランス語で「隠れ家」

女性限定の鍼灸ルーム「はり・きゆう・カシエツト」がオープンしました。オーナーで鍼灸師の平野小みちさん（深谷）は子ども時代を過ごした村に住み、現在は薬用植物の栽培にも挑戦中。「女性が自分の身体のためにゆとり時間を使える場になりたい」と話しています。



目を温めるお灸は器具を使います。小鳥のさえずりを聴きながらお灸のよい香りについてとうと…。



鍼灸師となり、東京や米沢、海外のサロンでも経験を積んだ平野さん。豪華客船のスパで仕事をしたこともあるそうです。家庭の事情で福島に戻り、それを機に飯館村で鍼灸ルームを開くことになりました。「女性は自分のことが後回しになりがち。優雅な時間を過ごしながら身体のメンテナンスをしてほしい。疲労感が続く方、肩や腰に痛みを抱える方など、一人ひとりの状態に合わせて鍼（はり）やお灸の施術ができます」。かつての校舎に新たなくつろぎの空間が誕生しました。

■はり・きゆう・カシエツト

飯館村白石字田尻 127
(旧白石小学校)
090-1935-7152 (完全予約制)
※施術中は電話に出られません

女性限定

原則平日のみ／時間要相談

健康保険対象外



詳しくはブログで▲

7/24、9/18、10/23、11/27 (各日曜日)に「手作り石けんレッスン」を開催。主催の「あとリエ・まぜて」についてはInstagramから▼



地域創造研究所
飯館事務所
代表 菊野里絵さん



旧白石小の校舎は村が株式会社地域創造研究所に貸与し同社とグループ会社が村内事業の拠点として活用しています。校舎を利用しての開業を希望される方は同社または村にお問い合わせください。

旧白石小の活用について

〈編集後記〉

● 通勤路から見える鮮やかな花々。どんな天気にも耐え、見る人の心を綺麗にしてくれるその姿に、いつも元気をもらっています。村民の皆さんからお寄せいただく皆さんの情報から、「広報いいたて」は成り立っています。皆さんの心に優しく寄り添うような広報紙を、こ



れからもお届けしていきます。(菅野)
● 大火山の笹が一斉に黄色い花を咲かせました。国立森林総合研究所東北支所に写真の確認を依頼した所、全国で開花が確認されている「スズタケ」で、なんと開花は120年ぶり！(星)

Native Speakers 第15回

ネイティブ・スピーカーズ 飯館言葉の達人たち

かっぼでね！

その意味は…



スマホのカメラをかざしてYouTubeで見てね

または検索で！

飯館村 YouTube